平成１８年度　～子どもたちの自由なあそび場を、子どもも大人もみんなでいっしょにつくろう！～

まっ白い広場 in 幕張海浜公園　第5回活動報告書

★ 子どもたちとの楽しいあそびの様子を、“まっ白い広場サポーター”がレポートします。

今回のあそびのたね
－ピザを手づくりする－

さあ、春の「まっ白い広場」で大好評だったピザ釜の登場です。今度はレンタルでなく、「まっ白い広場」専用の新しいピザ釜を手に入れることができました。これからは、いつでも好きなだけピザづくりができるぞー。

楽しく遊べば、おなかはぺこぺこ。そんな子どもたちの強い味方が、手づくりピザだ。

自分で粉から生地を練って、発酵させて、焼く。お母さんもびっくり、本格的な手づくりに挑戦です。

第５回　実施概要

テーマ：～手づくりピザを焼こう！（お試し版）～
実施日：２００６年９月３０日（土）
時間帯：午前１０：００～午後４：００
場　所：幕張海浜公園　松林とその周辺

天　候：くもり
参加者：３０名　スタッフ：５名

タイムスケジュール

９：３０～	現場安全点検
１０：００～	受付開始
	自由なあそび（午前の部）
１２：００～	昼食
１３：００～	自由なあそび（午後の部）
１５：３０～	片付け・撤収開始
１６：００	解散

松林解放前は、広場サポーターが点検

今日も子どもたちが安心して楽しく遊べるように、広場サポーターは、松林の安全点検をしていますよ。ついでに、ごみひろいも。普段は入れない松林ですが、なぜだか、ビール缶やお弁当のからなど、ごみがいろいろ落ちていることがあります。風で飛んでくるのか？投げ入れられるのか？

かわいそうなヘビ→

松の林床では、なんと毒キノコを発見！食べると危険なので、子どもたちには注意を促しながら、まわりから自然観察することにしました。

松林前では、一匹の小さな子どものヘビが死んでいるのを発見。搬入の車にひかれてしまったらしいのです。松林に帰る途中だったのかもしれません。

ピザ釜の火入れ準備

さて、ピザ焼きの準備は、まず火起こしです。ドラム缶でつくったこのピザ釜は、なかなか優れもの。２層式になっており、下の段で薪を燃やして、釜全体をあっためていきます。缶の横には、取っ手付の小窓があり、そこから上の段へピザを出し入れするしくみです。

おまけにドラム缶の上は、水をはったバットをおけば、生地の発酵にちょうど良い場所です。

火の番は、夏場は暑さとの戦いですが、「燃える男」の鵜沢サポーターががんばります。

ピザ生地づくりに挑戦

材料に水を入れながら練りの作業。最初は手がべとべとだけど、夢中でこねていると、生地がまとまります。発酵させている間は、みんなほかの遊びをしてまっています。ふわっと発酵したら、再集合。ばんばんと、板の上でおもいっきりたたいて、のばしていきます。これがけっこう、力がいるんです。

麺棒でまあるくのばしたら、トッピングに好きなものをどんどんのせていきます。食いしん坊の子どもたちは、具沢山。お互いの具を交換したりもします。なんと、昨日釣ったというイイダコを差し入れてくれたおとうさんも。そこでシフードピザが完成！

おいしく焼けるかな？

　今回このピザ釜を手に入れてから試運転が一回だけだったので、実はピザがちゃんと焼けるかどうか不安でした。釜の温度が一定になるように、慎重に薪を入れたりだしたりして、細かく調節していかないといけません。釜に入るピザも一回に３つまで。子どもたち一人１枚ずつのピザが、待機しています。鵜沢サポーターも必死ですが、さすが、アウトドアの達人。手際よく、みんなのピザをつぎつぎに焼いてくれます。

My手づくりピザができた！！！

　ピザ釜から香ばしいにおいがしてきて、ついにピザが焼き上がりました。ひとり一人、まったく違ったトッピングやアイディアでできたピザは、どれもすごくおいしそうです。

　ある男の子は、顔をイメージしてつくったらしく、プチトマトの目に薄切りタマネギの口という、デザイン重視で、意外にも割と控えめな具の使い方をしていました。はたまた、味重視で、具沢山のものもあり。生ハムが何重にも重ねられていて、超デラックス版もありました。とにかく、焼きたてのぱりぱりのピザを、みんなおいしそうに食べていました。

どんぐり笛づくりに夢中

　ピザづくりの傍らでは、どんぐり笛づくりに熱中の一団が。森林インストラクターでもある、伊藤サポーターが作り方を教えてくれています。松林からマテバシイの実をひろってきて、お尻をアスファルトでごしごしこすって穴をあけ、中身を針金で丁寧に取り出せば完成。口に当てて吹くとかわいい音が鳴ります。みんな座り込んで、地道に作業していましたよ。

木陰のハンモック

まだ、９月も終わりといっても暑いので、木陰は気持ちいいのです。通りかがりのお散歩の親子も、インラインスケートをしに公園に遊びにきている子どもたちも、松林に興味をもって、探検しに来てくれました。

ハンモックは、子どもたちにはやっぱり人気です。乗ると、ぐわんと大きくたわんでしまうので、結構、バランスをとるのには苦労しますが、それもまた楽しいのですね。

ヤシノキのダチョウ？！

ふと気が付くと、大きな葉っぱを抱えて帰ってきた子どもがいました。どうやら、ワシントンヤシモドキという大きな木の根元に落ちていた、枯れ枝葉のようです。公園の入り口にある、巨大な木です。またがって遊ぶのにもちょうどよい大きさで、なんだかみているうちにダチョウのような気がしてきたのだとか。

そこで、ガムテープとマジックで、大きなとさかのある鳥に変身させていました。

今◎あそびのたねから生まれたもの

- ピザ生地でアート
- どんぐりぶえと針金の音楽
- ダチョウののりものづくり

などなど

まとめ

ピザ釜がうまく運転できて、みんなもお腹いっぱい食べられて、よかったです。これから、釜をつかった、いろんなおやつづくりもできそうです。

それにしても、いろいろなおもしろいあそびのたねを、こどもたちは上手に発見しますね。

いろんなたねをこれからもどんどん見つけて、育てていきたいです。

〈編集・発行〉：NPO 法人幕張海浜公園を育てる会
http://sodaterukai.com　043-211-1068